

平成26年11月 定例委員会々議録

- 1 日 時 平成26年11月28日(金) 午後3時30分～
- 2 開催場所 会議室402
- 3 出席委員の氏名
委員長 齋藤和夫 委員長職務代理者 黒川優子
委員 山崎克弥 委員 中野信男
委員 秦久美子 教育長 上原洋一
- 4 欠席委員の氏名 なし
- 5 説明のため出席した職員
教育次長 金子彰男 学校教育課長 山田公一
子育て支援課長 伊藤謙治 社会教育課長 堀克彦
- 6 本委員会書記
学校教育課 田中幹也
- 7 傍聴人
1名
- 8 会議に付議した事件
諸報告
(1) 行事報告及び行事予定
(2) 教育長報告
(3) 寄付報告
(4) 共催・後援の教育長専決報告

協議題
(1) 新規後援申請

その他

会議録 別紙のとおり

1. 開 会 宣 言 午後15時30分～

2. 会議録署名委員の指名 山崎克弥委員

3. 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定について

《各課長が報告》

(2) 教育長報告

〈上原洋一教育長が報告〉

● 燕ジュニア検定の実施について

- 11月10日(月)の放課後、全小学校で燕ジュニア検定を実施した。2,650(－60)人が受験。内訳は超難問コース(A)に125(+47)人、難問コース(B)に925(+169)人、入門コース(C)に1,600(－276)人が挑戦した。平均点はAが77.7点、Bが73.3点、Cが77.9点。受験者全員に認定証を授与した。
- 満点者に授与する「燕ジュニア博士」認定バッジについては、昨年6人だったAコースで12人、Bコースで38(－34)人、Cコースで164(－120)人が獲得した。
- 試験当日3校を回ってみたが、気持ちを集中して難問に取り組んでいる姿が見られた。
- 各学校とも地域コーディネーターが中心になって運営していただいた。昨年と同じく約200人のボランティアの方々から、問題配付、試験監督、採点に至るまでご協力いただき深く感謝。表彰式は12月3日(水)の予定。
- なお、県教育委員会は本年4月に発表した新潟県教育振興基本計画において、今後目指すひとつづくりの姿として「ふるさとへの愛着と誇りを胸に、粘り強く挑戦し未来を切り拓く、たくましいひとつづくり」を掲げている。
- 今回の燕ジュニア検定をはじめ、つばめっ子かるた、みんなつばめのこども、長善館学習塾、J&Bプロジェクト等本市の取組は、県が打ち出した「郷土愛を軸としたキャリア教育」を先行実施しているものであり、今後も継続・充実していきたい。

● その他参加した主な行事等

- 燕市保育研究会「保育士のメンタルヘルス」(10月31日 講師:金城悟氏)
- 夢の教室(10月31日 吉田南小 講師:中村真衣氏)
- 分水北小創立30周年記念式典(11月8日)

- 第7回燕市民茶会（11月9日）
- 第41回燕市民剣道大会（11月9日）
- 燕市西蒲小学校教育研究会（11月12日 燕東小）
- 燕市スポーツ少年団大運動会（11月16日）
- 南魚沼市とのプラットフォーム会議（11月18日）
- ICT 絆プロジェクト研究発表会（11月19日 吉田南小）
- 県教育委員会 ICT 教育視察（11月20日 吉田南小）
- 中学数学学力向上対策（11月20日 分水中） 船橋市立小中教頭会視察
- 絆スクール集会（11月26日 分水中）
- 上記以外の学校・園・施設訪問
11/5 燕中、11/10 燕北小、大関小、小池小（以上3校ジュニア検定）、11/11 燕中、11/12、11/25 西部学校給食センター、11/14 燕南こども園

(3) 寄附報告

《山田学校教育課長が1件の寄附について報告》

4. 協議題

(1) 新規後援申請

「ひろちゃん市」について

《山田学校教育課長が説明》

○委員（中野 信男）

趣旨は、良く分かったが、具体的な内容のイメージ出来ない。実施内容の記載を具体的なものにしてほしい。

○学校教育課長（山田 公一）

申請書だけでは、分かりにくい表現となっていた。今後の申請受付については、十分配慮していきたい。

○委員（山崎 克弥）

事業の内容ではないが、市役所を会場にした事業の申請について、燕市の共催であれば問題がないと思われるが、共催、後援の申請をしなくても、会場の使用ができるのか。

○学校教育課長（山田 公一）

貸出用のスペースも用意されているので、使用は可能である。しかし、使用

料金がかかる場合がある。

事務スペースはシャッターで制限がされる。会議室、燕ホールについては、土曜日、日曜日でも利用できるようになっている。

○委員（黒川 優子）

事業目的と実施内容がとの関連が分かりにくい。事業内容だけであれば、市民祭の時に実施するなど、他の方法が考えられる。

○学校教育課長（山田 公一）

春に一度、戸隠神社で事業の実施を行っている。継続的に行いたいとの事で、今回の申請となったものと思われる。

障がいのある子どももそうでない子どもも一緒になって楽しむことで、大人も関わって理解してもらおう。いろんなイベントと併せての実施事業と思われる。

○委員（黒川 優子）

申請書の事業内容が分かりにくい。

審議の結果、全員異議なく承認された。

5. そ の 他

6. 閉 会 午後4時00分

委員長 齋藤和夫

会議録署名委員

会議録調整者
